

**「プリンク®注・注シリンジ 5 μ g/10 μ g」と「プリンペラン®注射液 10mg」
の販売名類似による取り違え注意のお願い**

2016年9月

製造販売元：テバ製薬株式会社
製造販売元：アステラス製薬株式会社
販売元：アルフレッサ ファーマ株式会社
発売元：科研製薬株式会社

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テバ製薬株式会社が製造販売する「プリンク®注・注シリンジ 5 μ g/10 μ g（アルプロスタジル）：プロスタグランジン E₁ 製剤」とアステラス製薬株式会社が製造販売する「プリンペラン®注射液 10mg（塩酸メトクロプラミド）：消化器機能異常治療剤」で、販売名が類似していることから、本来「プリンペラン®注射液」を処方すべきところを「プリンク®注」を処方してしまった事例が2件報告されております。その原因について、1件は不明であるものの1件は処方オーダーシステムにおける選択ミスによるものであることが判明しています。

このような状況から処方オーダーシステムにおける薬剤の選択ミスを未然に防ぐため、これらの薬剤を処方又は調剤いただく際には、薬効及び販売名等を今一度ご確認いただくと共に、改めて院内にて周知ならびに一層のご配慮をお願い申し上げます。

なお「プリンク®注・注シリンジ 5 μ g/10 μ g」の製造販売元であるテバ製薬は、根本的な再発防止対策として一般名（アルプロスタジル注・注シリンジ）への名称変更手続きを進めています。名称変更の代替新規申請を8月に規制当局へ提出済みですが、名称変更品の出荷開始までにはしばらく時間を要することになります。ご不便をおかけし大変申し訳ございませんが、名称変更品を十分に流通できるまでの間は、処方時の取り違えに十分注意いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。





今後とも引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

謹白

選択ミスが判明した実際の事例	
<事例>	嘔気があり、脱水で入院予定の患者の点滴に制吐剤のプリンペランを処方しようとして誤ってプリンクを処方した。 間違った処方を受けた看護師は初めて使用する薬剤で疑問を持ちながらも、別の看護師に薬剤の効能を尋ね、薬剤師から払い出しを受ける時に、添付文書ももらったが、医師に確認せずに施行した。診療を引き継いだ別の医師が気づいた。薬剤による影響はないと判断した。
【背景】	「プリン」で3文字検索した医師は、上部に候補表示されたプリンク（表示は、劇 プリンク 10 μ g2mL（パルクス）とされた）をクリックして処方した。

プリンクとプリンペラン

この薬を処方または調剤いただく際にはご注意ください。

薬効分類名等	プロスタグランジン E ₁ 製剤	プロスタグランジン E ₁ 製剤	消化器機能異常治療剤
販売名	プリンク [®] 注 5 μ g/10 μ g	プリンク [®] 注シリンジ 5 μ g/10 μ g	プリンペラン [®] 注射液 10mg
成分名	アルプロスタジル	アルプロスタジル	塩酸メトクロプラミド
製品の写真	 <p style="text-align: center;">プリンク[®]注 5μg</p>  <p style="text-align: center;">プリンク[®]注 10μg</p> <p>左：テバ製薬販売 右：アルフレッサ ファーマ販売</p>	 <p>左：プリンク[®]注シリンジ 5μg 右：プリンク[®]注シリンジ 10μg</p>	 <p style="text-align: center;">プリンペラン[®]注射液 10mg</p>
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○慢性動脈閉塞症（バージャー病、閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善 ○下記疾患における皮膚潰瘍の改善 進行性全身性硬化症 全身性エリテマトーデス ○糖尿病における皮膚潰瘍の改善 ○振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善ならびに末梢循環・神経・運動機能障害の回復 ○動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存 ○経上腸間膜動脈性門脈造影における造影能の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○慢性動脈閉塞症（バージャー病、閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善 ○下記疾患における皮膚潰瘍の改善 進行性全身性硬化症 全身性エリテマトーデス ○糖尿病における皮膚潰瘍の改善 ○振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善ならびに末梢循環・神経・運動機能障害の回復 ○動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存 	<ul style="list-style-type: none"> ○次の場合における消化器機能異常（悪心・嘔吐・食欲不振・腹部膨満感） 胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胆嚢・胆道疾患、腎炎、尿毒症、乳幼児嘔吐、薬剤（制癌剤・抗生物質・抗結核剤・麻酔剤）投与時、胃内・気管内挿管時、放射線照射時、開腹術後 ○X線検査時のバリウムの通過促進
製造販売元	テバ製薬株式会社	テバ製薬株式会社	アステラス製薬株式会社
発売・販売元	販売元： アルフレッサ ファーマ株式会社（10 μ gのみ）	発売元： 科研製薬株式会社	-

※製品をご使用の際は最新の添付文書をご確認ください。